

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」
の実現に向けて

～令和4年度予算概要～
(わかりやすい予算説明書)

元気 創生 強靱化予算



岡谷市インスタグラムフォトコンテスト2020最優秀賞
studio_sunset_sea さんの作品

長野県 岡谷市

令和4年度予算概要

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて

～元気 創生 強靱化予算～

市民のみなさまには、それぞれのお立場で、また、さまざまな場面でまちづくりにご参加、ご協力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

本市にとりまして令和4年度は、第5次岡谷市総合計画によるまちづくりの4年目として、計画に掲げる目標の達成に向け、各種施策を着実に展開し、取り組みの成果をさらに積み重ねるとともに、後期基本計画の計画期間となります、次の5年間を見据えた施策展開をしていく年となります。

総合計画の将来都市像であります「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向け、

- ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
- 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- 安全・安心で、自然環境と共生するまち
- 快適な生活を支え、住み続けたいまち
- みんなで作る、確かな未来を拓くまち

この6つの基本目標を柱に、これまでの取り組みを基盤として必要な改革・改善を行い、さらなる発展に向けた各種施策を積極果敢に実施し、将来を見据えた確かなまちづくりを推進する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症に対して、引き続き、市民の命と暮らしを守るため、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図り、令和3年8月の大雨による被災箇所については、復旧・復興を最優先に進めるとともに、激甚化・頻発化する自然災害等に備えた防災・減災対策を強化し、安全で安心な暮らしの実現に向けた取組を加速していく必要があります。

そのため、令和4年度を「安全・安心を深化(進化)する年」と位置づけ、「安全・安心な暮らしの実現」、「まちなかの魅力向上」、「元気・活力の創出」の3つを予算の重点施策に掲げ、必要な施策・事業に財源を集中した、「元気 創生 強靱化予算」として編成いたしました。

あわせて、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく、令和3年度補正予算と、令和4年度当初予算を一体とした、いわゆる国の「16ヶ月予算」に対応し、本市でも令和3年度補正予算と、令和4年度当初予算を一体とした「14か月予算」として、各種事業を積極的に展開してまいります。

令和4年度予算の着実な実施により、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人に活躍の場や生きがいがあり、また、生活に彩りと潤い、楽しみがあって、幸せを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高い岡谷市を将来に向かって創り上げてまいります。

市民のみなさまには引き続き、まちづくりへ積極的にご参加をいただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

岡谷市長 今井 竜五

～ 目 次 ～

◆予算の基礎知識 Q&A……………	1
◆一般会計予算の状況……………	3
◆令和4年度予算の 6つの基本目標と主な事業……………	8
○ともに支えあい、健やかに暮らせるまち……………	8
○未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち……………	10
○人が集い、にぎわいと活力あふれるまち……………	12
○安全・安心で、自然環境と共生するまち……………	14
○快適な生活を支え、住み続けたいまち……………	16
○みんなで作る、確かな未来を拓くまち……………	18
◆参考資料……………	19

予算の基礎知識 Q&A



Q. そもそも「予算」ってなあに？

A. 予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）の収入と支出を前もって見積もることです。



新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入（入ってくるお金）があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのための支出（使うお金）がどのくらい必要なのかを見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。なお、市の予算においては、収入のことを歳入、支出のことを歳出といいます。



Q. どうやって岡谷市の予算を決めるの？

A. 市長が予算案を作り、市議会の審議と議決によって成立します。



市のそれぞれの担当部署は、市民のみなさまの意見や要望を聞き、「1年間の行政サービス」を検討します。その後、担当部署の案について庁内全体で協議・検討を重ねたうえで、市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会は、提出された予算案を事業内容や実施体制などの様々な面から審議したうえで議決（議会の意思決定）をします。



Q. 一度決めた予算は変わることはないの？

A. 変わることがあります。それを補正予算といいます。



市議会で決定した予算から事業を実施するうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起きることがあります。例えば、台風や豪雨などの自然災害などにより、緊急にお金を使わなくてはならないときは、予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提出し、審議したうえで議決を受けます。この予算のことを「補正予算」といいます。



Q. 予算はなんのために必要なの？

A. 行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。



予算は、歳入と歳出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うために、予算を作成することが必要になります。

また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になるのです。



Q. 何を目標として予算を作るの？

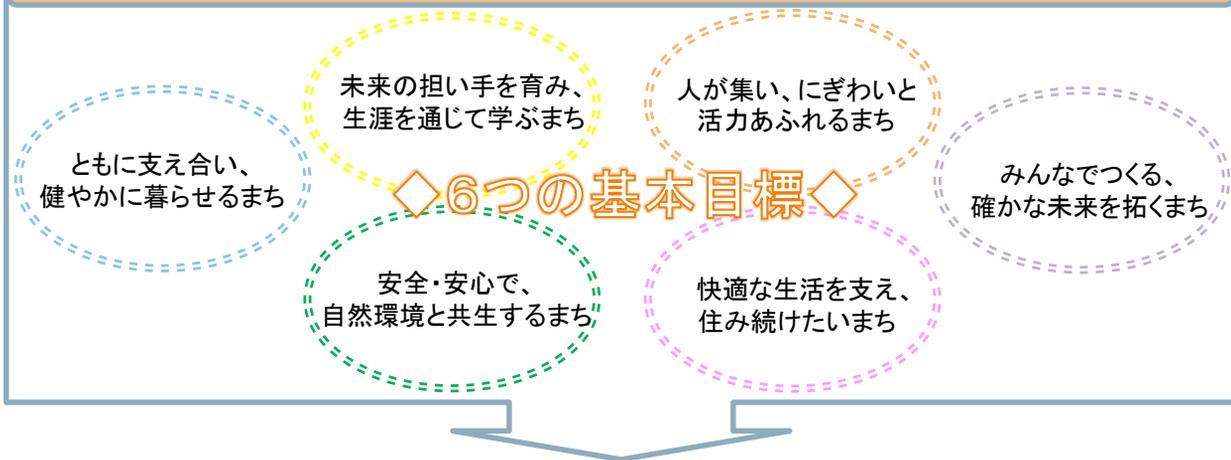
A. 総合計画で定めた基本目標を達成するため、
予算を作成します。



令和4年度は、第5次岡谷市総合計画の4年目の年となります。この総合計画に掲げた6つの基本目標を達成するため、3つの重点施策を掲げ予算を作成しました。

第5次岡谷市総合計画に掲げる将来都市像

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」



<令和4年度 3つの重点施策>

「安全・安心な暮らしの実現」

「まちなかの魅力向上」

「元気・活力の創出」



Q. 令和4年度の岡谷市の予算規模は？

A. 一般会計 : 201億9,000万円 (前年度比 3億8,000万円増)
 特別会計等 : 58億190万円 (前年度比 2,120万円減)
 企業会計 : 129億8,133万円 (前年度比 704万1千円減)



【一般会計 : 201億9,000万円】

教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計です。主な収入は、市税、地方交付税、国・県支出金などです。

【特別会計等 : 58億190万円】

特定の目的のための会計で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計と切り離して、その収入・支出を経理する会計です。

- 国民健康保険事業特別会計 : 45億590万円
- 地域開発事業特別会計 : 3億 930万円
- 分収造林事業特別会計 : 2,630万円
- 霊園事業特別会計 : 5,450万円
- 温泉事業特別会計 : 1,600万円
- 後期高齢者医療事業特別会計 : 8億8,830万円
- 湊財産区一般会計 : 160万円

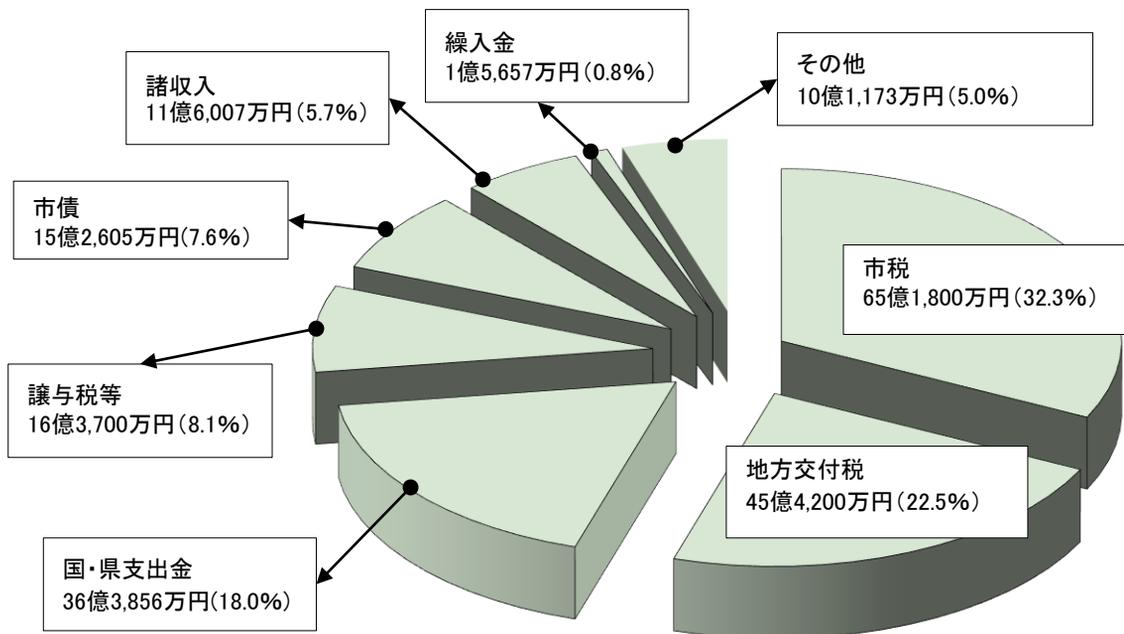
【企業会計 : 129億8,133万円】

水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の3つの企業会計があり、民間企業と同じように、それぞれの事業で収益をあげて運営しています。

- 水道事業会計 : 22億7,806万9千円
- 下水道事業会計 : 28億8,608万9千円
- 病院事業会計 : 78億1,717万2千円

一般会計予算の状況

歳入予算 201億9,000万円



市 税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など	
地方交付税	全国で一定の行政サービスが行えるよう国から交付されるお金	
市 債	公共施設の整備等に伴い金融機関等から借りるお金	
国・県支出金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	
諸 収 入	他の科目に分類されない収入で、延滞金や実費徴収金など	
繰 入 金	市が積み立てた基金（貯金）を取り崩してまちづくりに使うお金	
そ の 他	使用料及び手数料	公共施設の使用料や、住民票などの発行手数料
	地方消費税交付金	消費税のうち人口などの状況により国から交付されるお金
	分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じ負担していただくお金
	財産収入	財産の貸付け、売り払いなどにより得るお金

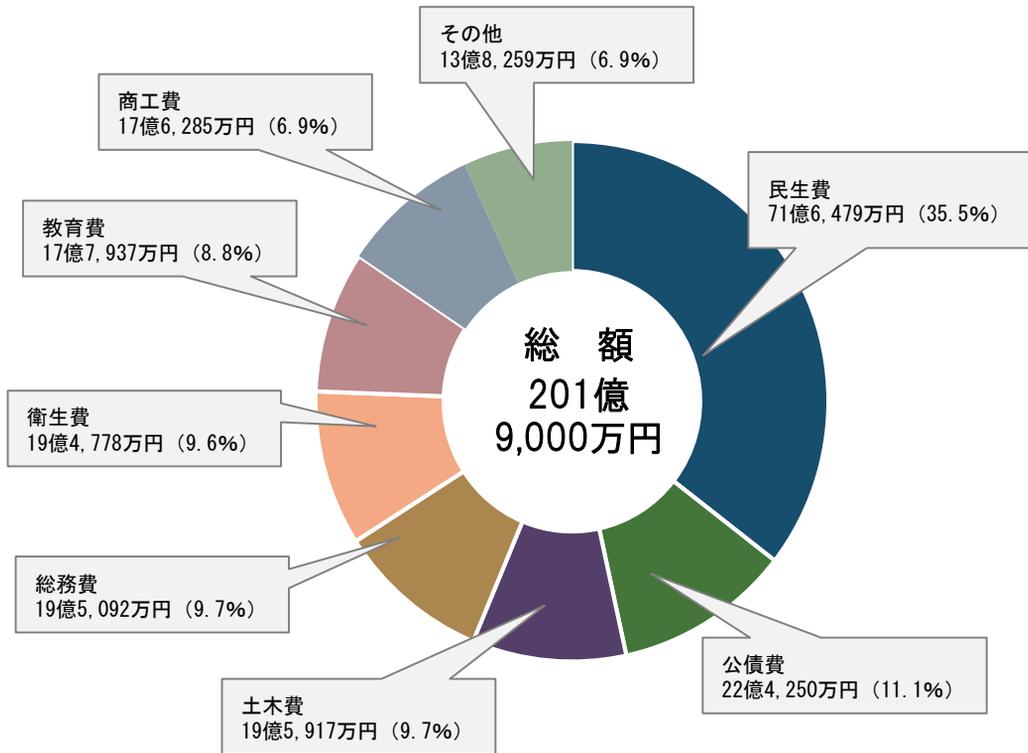
～市税収入の状況～



歳入の30%以上を占める市税については、前年度比3億1,600万円の増となっておりますが、70億円台を計上した平成21年度予算との比較では、11億800万円の減となっております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により先行きは不透明な状況ではありますが、個人及び法人市民税を始めとした各種税目に一定の回復を見込んでいます。

歳出予算 201億9,000万円



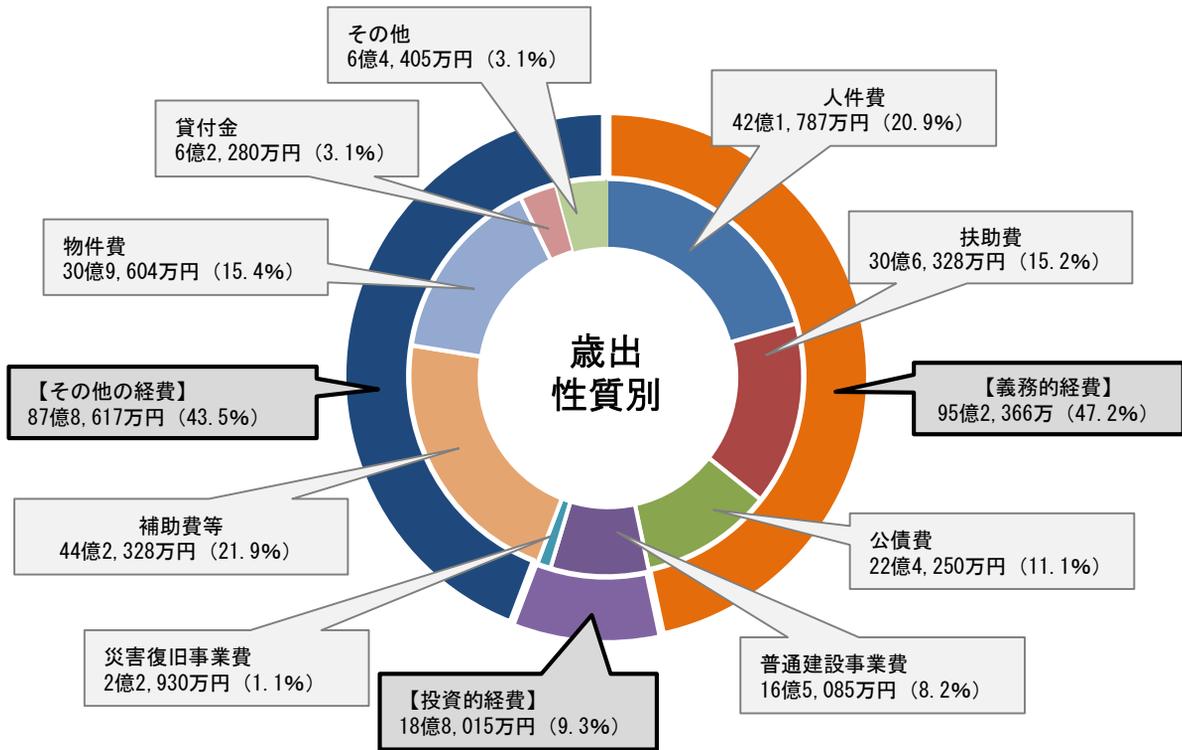
第5次岡谷市総合計画に掲げた将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、事業の選択と集中を進めるなかで、限られた財源（収入）を効率的、効果的に予算を配分しました。

民生費や土木費、総務費等に係る様々な施策を展開し、令和4年度の重点施策である「安全・安心な暮らしの実現」、「まちなかの魅力向上」、「元気・活力の創出」の実現を目指します。

総務費	市の運営や税金の賦課徴収、戸籍住民票の管理などに使うお金	
民生費	障がい者や高齢者、子育てなどに使うお金	
衛生費	保健や環境・衛生の向上、病院への繰出金などに使うお金	
商工費	工業や商業、観光の振興に使うお金	
土木費	道路や橋、公園、市営住宅などに使うお金	
教育費	小中学校、図書館、体育館などの管理運営に使うお金	
公債費	市債（借金）の返済に使うお金	
其他	議会費	市議会の運営に使うお金
	労働費	雇用の促進や勤労者の福祉に使うお金
	農林水産業費	農業、林業などの振興・管理・整備に使うお金
	消防費	消防や救急、消防団の活動などに使うお金
	災害復旧費	被災箇所の復旧に使うお金
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使うお金

歳出の性質別内訳は次のようになっています。

歳出を経済的な性質を基準にして分類したものが、次のグラフです。
この分類は、全国のどこの市町村も同じ基準で分類しています。



内側の円の8つの性質(=下表)は、それぞれ外側の円の“3つ”に大別されます。
人件費と扶助費、公債費を合計したものが「義務的経費」と呼ばれています。これは歳出が義務的な要素を持っているからです。

普通建設事業費や災害復旧事業費は、「投資的経費」と呼ばれ、社会資本(道路・橋りょう・公園・学校等)の整備に要するものです。

それ以外は「その他の経費」と呼ばれています。

人件費	市長や議員などの特別職と一般職員に支払われる報酬や給料	
公債費	市債の返済に使う経費	
扶助費	高齢者や障がい者等の施設入所や生活保護などの福祉的な経費	
普通建設事業費	道路や学校などの建設事業に使う経費	
災害復旧事業費	被災箇所の復旧に使う経費	
貸付金	預託金など直接現金の貸付けを行うための経費	
補助費等	各種団体などへの補助金や負担金	
物件費	事務に必要な経費や光熱水費、委託料など	
その他の	維持補修費	道路や施設の修繕、維持に使う経費
	積立金	基金(貯金)に積立てを行うための経費
	繰出金	他の会計へ支出するための経費
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使う経費

予算を、一般家庭の家計簿に例えると



岡谷市の令和4年度の一般会計予算を一般家庭の1ヶ月あたり40万円（年収480万円）の家計に例えてみました。

収入

		4年度	3年度
	給料	172,161円	176,470円
市税	うち基本給	129,134円	125,229円
使用料・手数料等	うち諸手当	43,027円	51,241円
地方交付税等	パート収入	122,417円	109,884円
国・県支出金	親からの仕送り	72,086円	65,211円
繰入金	貯金の取崩し	3,102円	4,906円
市債	金融機関からの借入	30,234円	43,529円
合計		400,000円	

使用料・手数料等：使用料及び手数料、分担金及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入
 地方交付税等：地方交付税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金

支出

		4年度	3年度
人件費	食費	83,564円	81,275円
物件費等	光熱水費	62,674円	59,261円
扶助費	医療費	60,689円	61,604円
補助費等	仕送り	87,633円	87,941円
普通建設事業等	住宅増改築費	37,249円	34,115円
公債費	借金返済	44,428円	47,969円
積立金	貯金	484円	530円
貸付金等	その他雑費	23,279円	27,305円
合計		400,000円	

物件費等：物件費、維持補修費
 普通建設事業費等：普通建設事業費、災害復旧事業費
 貸付金等：投資及び出資金、貸付金、繰出金、予備費

歳出を、**市民ひとりあたり**で計算すると・・・

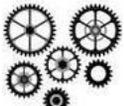
令和4年度の一般会計予算は、201億9,000万円ですが、市民ひとりあたりの行政サービスの経費を計算してみました。



令和4年度の一般会計予算（201億9,000万円）を人口（48,095人）で割ると、市民ひとりあたり約419,800円の行政サービスを受けている計算です。

一方、これに対して令和4年度の市税65億1,800万円を同様に人口で割ると、市民ひとりあたり約135,500円の負担をいただいていることとなります。



市議会の運営経費  3,900円	市役所などの運営  42,600円 (2,100円)	福祉・子育てに  150,700円 (1,700円)
環境衛生の向上に  41,400円 (900円)	雇用の確保・拡大  1,800円	農業などの振興に  3,900円 (100円)
産業振興の充実に  38,400円 (1,700円)	道路などまちづくり  47,700円 (7,000円)	消防・救急体制に  14,300円 (1,000円)
教育の充実に  41,900円 (4,900円)	災害の復旧  5,000円 (200円)	借金の返済に  27,100円 <small>※各目的に分類されない、 その他の財源補てん的な 市債の返済</small>
緊急時の備え 1,000円	※（ ）内市債（借金）の返済額	

令和4年度予算の主な事業

(※「14か月予算」のため、一部に令和3年度補正予算を含んでいます。)

基本目標

ともに支えあい、健やかに暮らせるまち

少子高齢化が進むなかで、社会保障などの福祉施策の充実が重要な課題となってきています。市民のみなさま一人ひとりが、将来にわたって健康で快適に、豊かな生活を送ることができるよう、保健医療の充実、子育て支援、福祉の充実等を掲げ、さまざまな施策を積極的に実施します。



恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業

91万円

ウィズコロナに対応し、オンライン形式によるブラッシュアップセミナー、婚活イベントを開催し、カップル成立率の向上を図ります。

また、婚活に関する情報提供希望者のデータベース化を行い、婚活イベント情報、結婚相談などの情報提供を行います。



【拡充】「おかやでスタート！」結婚新生活支援事業

285万円

結婚に伴う経済的不安を解消するため、新婚世帯の住居費及び引越に必要な経費のほか、新たにリフォーム費用を対象経費に加え、支援を行います。

<国基準>

○対象世帯：夫婦共に39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新婚世帯

○対象経費：婚姻に伴う新規の住宅取得費用・住宅賃貸費用、引越費用、リフォーム費用(拡充)

○上限金額：1世帯合計30万円

<市単独分>

○対象世帯：夫婦共に42歳以下かつ世帯所得420万円未満の新婚世帯

○対象経費：婚姻に伴う新規の住宅取得費用・住宅賃貸費用、引越費用、リフォーム費用(拡充)

○上限金額：1世帯合計15万円



【新規】3歳児健診における屈折検査導入事業

186万円

弱視の早期発見、早期治療につなげるため、3歳児健診において屈折検査機器を用いた屈折検査を導入します。

【新規】子ども家庭総合支援拠点事業

538万1千円

子どもが心身ともに健やかに育成されるよう、新たに、子ども家庭総合支援拠点機能を置き、子どもとその家庭に関する実情把握、情報提供、調査指導、その他必要な支援を一体的に行います。



子育て世代包括支援事業

6,081万9千円

安心して妊娠・出産・子育てができる環境を実現するため、母子保健相談や産前・産後サポート事業として子育てに関する相談支援を行うとともに、医療機関や助産院等での授乳指導や育児相談などに係る経費の一部を助成し、妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

1億9,248万8千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と重症化予防のため、1・2回目接種未完了者への接種機会の提供を継続するとともに、2回接種完了者に対して追加接種の機会を提供します。

地域支援事業

2億2,107万3千円

高齢者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等になった場合においても、可能な限り自立した日常生活を営むことができ、また住み慣れた地域で健やかに暮らせるよう支援を行います。

【新規】福祉タクシー利用促進事業

マンパワー事業

高齢者のより安全な生活移動手段への転換を促すとともに、高齢者の外出機会を確保するため、運転免許証を自主返納した満80歳以上の市民に対して、福祉タクシーの利用券を交付します。

- 対象者：運転免許証を自主返納した80歳以上の市民
- 内容：福祉タクシー利用券(300円×10回分)

【新規】重層的支援体制整備移行準備事業

262万8千円

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する「重層的支援体制整備事業」への移行を見据え、連携支援コーディネーターの配置のほか、学習支援を通じた生活・家庭支援、農福連携による協働体験等、移行準備事業に取り組みます。

【新規】農福連携による協働体験事業

7千円

ひきこもりや就労準備支援事業の一環として、シルクスweetの圃場において苗の植え付けから収穫までの農作業を体験し、協働作業による成功体験などを通じて社会活動へのきっかけづくりとなる場を提供してまいります。



【新規】女性相談員配置事業

260万9千円

市民にとってより身近で、継続的かつ安心して相談することができる体制を整えるため、常勤の女性相談員を配置します。

基本目標

未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち



少子高齢化や高度情報化・国際化、ライフスタイルの変化など、目まぐるしく変化する社会情勢に対応するべく、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした良質な学習環境の整備が求められています。

すべての人が、住み慣れたまちで生きがいのある快適な生活を送ることができるよう、「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」を掲げ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進します。

【新規】 学びの創生・連携支援室設置事業

537万円

未来を担う子どもたちに必要な資質能力を育成し、学力向上を推進するとともに、幼保小中の有機的な連携を一層推進するため、**岡谷市学びの創生・連携支援室**を設置する。

【新規】 学校・家庭双方向通信アプリ導入事業

151万2千円

学校から保護者への連絡用ツールとして使用しているシステムを刷新し、デジタル化を進めることで、迅速な情報提供、家庭からの必要な情報の把握、学校事務の効率化を図ります。

【新規】 おかや小学生夏休み

18万6千円

わくわくサマースクール事業

子どもたちの学習習慣の形成、苦手意識の解消、基礎的学力の向上を図るため、夏休み期間中の小学生を対象として、市教育委員会と学校の協働による学習支援事業を行います。

◇スキルアップ学習(1～6年生)

学校教員による補習

◇おかやキッズラボ(1～6年生)

教員OB等地域人材を講師とする科学教室

◇岡谷子ども未来塾(5年生)

教員OB等地域人材を講師とする算数の学習支援



令和3年度補正予算による事業

【補正】 安全で快適な学習環境整備事業

(学校トイレ洋式化)

1,100万円

安全で快適な学習環境を整備するため、市内小中学校のトイレの洋式化を計画的に実施する。令和4年度は**岡谷南部中学校**のトイレ洋式化を行います。

【新規】 おかや子育て憲章制定20周年記念事業

66万5千円

おかや子育て憲章の制定から20年を迎えることから、改めて憲章の意義を市民に理解してもらい浸透を図るため、記念事業として子育て講演会を開催するほか、成長樹(期)子育て実践ポイントの見直しを行います。

未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち



【新規】二十歳の祝賀式開催事業

113万2千円

成年年齢が引き下げられることに伴い、「成人式」に替え、二十歳の門出を祝うとともに、生まれ育ったふるさと岡谷の魅力を再発見してもらう機会として祝賀式を開催する。

【新規】学びを活かす岡谷学「コレカラ岡谷」事業

6万6千円

岡谷の日本遺産や史跡、自然、産業を学び、その学びを地域へ還元し、後世に伝承する人材育成を図るため、学びを活かす岡谷学講座を開催します。

【新規】図書資料のデジタル化事業(地元紙のデータベース導入)・市町村と県による協働電子図書館事業

33万円

図書資料のデジタル化を推進するため、地元紙のデータベースの導入や市町村と県の協働による電子図書館を整備します。

【拡充】スポーツきっかけづくり事業

311万3千円

スポーツに取り組むきっかけづくりとして、各種のスポーツ教室、親子でのスポーツ体験イベントとなるファミリースポーツプログラムに加え、新たに働き盛りのミドル世代を対象としたランニング教室を実施、コロナ禍における運動不足を解消を図ります。

《事業内容》

◇スポーツ教室

市内在住者を対象とした各種教室を

◇おかやファミリースポーツプログラム

親子で体験できるスポーツを中心に全4種目を実施する。

種目：バスケットボール、野球、サッカー、卓球

【拡充】◇ランニング教室

概ね35～60歳のランニング初心者を対象に、ランニング教室を実施する。



スポーツ施設整備事業

1億5,411万円

スポーツ施設の老朽化、スポーツニーズの変化などに対応するため、計画的な施設整備を行います。

令和4年度、5年度は市民水泳プールの大規模改修工事などを行います。



【新規】公民館施設避難所環境改善事業

4,560万円

安全・安心で快適な避難環境を整備するため、災害時に避難所となる公民館の全室にエアコンを設置するとともに、実習室に給湯設備を整備します。

基本目標

人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

基幹産業である製造業を軸とした「産業振興の推進」に向けて、企業誘致に向けた取組みをはじめ、既存企業の活性化や雇用の維持・拡大を進めます。また、商業・観光・農林業など産業全般にわたり多くの施策を展開し、就労の確保と人口の減少に歯止めをかけ、強い財政基盤の構築と活力のあるまちづくりを推進します。



【新規】 DX推進デジタル化ツール導入支援補助金 300万円

市内製造業のデジタルトランスフォーメーションを促進するため、生産性の向上、業務効率化、人材不足の解消、既存事業の発展に向けた取組等に要する経費の一部を補助します。

◇補助対象経費の1/2以内 上限額30万円

【拡充】 新規受注開拓推進事業補助金 170万円

新たな販路の開拓、新規受注獲得のため、市内企業が展示会等に出展する経費の一部を助成します。また、次世代産業(医療、航空宇宙、環境、エネルギー、デジタル産業等)販路開拓支援事業枠を新たに設けます。

◇一般枠: 補助対象経費の1/3以内、上限額20万円 ※ただし、連続する2年目は上限額10万円

◇次世代枠: 補助対象経費の1/3以内、上限額20万円

◇次世代産業販路開拓支援事業枠【拡充】: 補助対象経費の1/3以内、上限額10万円

【新規】 「岡谷で働く」UIJターン採用強化支援事業 651万7千円

採用意欲のある市内事業者の採用力を向上させるため、セミナーの開催や個別相談支援を行うとともに、UIJターンの促進による市外からの人材確保を強化するため、就職情報サイトの活用などに要する経費の一部を助成します。

◇人結び採用チャレンジ応援補助金

◇採用力向上セミナーの開催

◇採用活動の個別相談支援

【新規】 事業継続力強化支援事業 マンパワー事業

市内小規模企業の事業継続力強化を図るため、岡谷商工会議所との連携により、企業のBCP(事業継続計画)の策定を支援します。

【新規】 テクノプラザおかや開館20周年記念事業 140万円

産業振興拠点施設テクノプラザおかやの開館20周年を記念し、ものづくり人材の育成と産業振興拠点であるテクノプラザおかやを活用した地域活性化を図ります。

◇小中学生を対象としたアイデアコンテスト

◇市内企業を対象とした講演会



【新規】 グリーン成長投資促進支援事業 1,610万円

2030年度の産業部門の二酸化炭素排出量の削減目安である、2013年度比37%減、また市内企業が自ら排出する二酸化炭素の排出量の削減を図るための取組を支援します。

◇省エネ、ゼロカーボン推進のための支援制度等に関するセミナーの開催

◇「おかやグリーン成長対策資金」の創設

人が集い、にぎわいと活力あふれるまち



【拡充】 商業等振興補助金

1,403万7千円

空き店舗の改修、既存店舗の改修及び賃借料の助成を行い、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図ります。

◇空き店舗改修補助(飲食店対象、事業所数が純増する場合)【拡充】

補助率:対象経費の1/2以内 上限額:60万円

◇空き店舗改修補助

補助率:対象経費の1/2以内 上限額:50万円

◇既存店舗改修補助

補助率:対象経費の1/2以内 上限額:50万円

◇賃借料補助

補助率:対象経費の1/3以内 上限額:25万円 ※2年間

◇経営者サポート補助

補助率:対象経費の1/2以内 上限額:10万円

※空き店舗改修補助:対象経費の50万円を超える部分が補助対象。賃借料との併用が可能。

既存店舗改修補助:対象経費の100万円を超える部分が補助対象。



【新規】 岡谷・シルクスイートオーナー事業

4万円

遊休荒廃農地を再生利用し、栽培・収穫などの生産過程を体験しながら、シルクスイートを受け取ることができる、岡谷独自のオーナー制度を創設します。

市外在住者からオーナーを募ることで、関係人口の創出につなげるとともに、全国にシルクスイートのおいしさを知っていただく機会を創出してまいります。



【新規】岡谷シルク商品開発促進事業

50万円

岡谷シルクの知名度向上及び新製品の開発を促進するため、岡谷産シルクを使った商品の開発を行う国内事業者に対し、その経費の一部を助成します。

◇補助率 対象経費の1/2以内

◇限度額 10万円

◇対象経費 新商品の開発に必要な経費(原材料費、外注加工費、委託費など)

【拡充】 若者未来の就職応援事業

42万9千円

中高校生を対象として職業観や勤労観を育成し、将来岡谷市で働く意欲を形成するため、地元企業人によるキャリア教育、諏訪圏工業メッセの見学、高校生を対象とした企業説明会等を行います。

◇高校連携企業説明会の開催【拡充】

岡谷工業高校及び岡谷東高校において、高校就職希望者と高校採用計画のある企業とのマッチング機会を創出します。

インスタグラムフォトコンテスト事業

35万6千円

岡谷市の魅力発信、関係人口の拡大を図るため、インスタグラムを活用したフォトコンテストを開催します。

若者おかや暮らし応援事業

432万7千円

若者の本市への定住促進を図るため、岡谷市に定住する意思のある若者に対して、民間賃貸住宅の賃料の一部の補助を行います。

安全・安心で、自然環境と共生するまち



近年、国内外において様々な災害や環境に関わる問題が発生しており、市民の命や暮らしを守る取組みが急務となっています。

当市においても、平成18年7月に経験した豪雨災害の教訓を活かし、さまざまな防災・減災対策を進めるとともに、安全・安心で自然環境と共生するまちづくりを進めます。

【新規】 河川災害防止対策事業

5,000万円

良好な河川環境を構築し、流域住民の生命と財産を守り、安全・安心な住環境を実現するため、市が管理する普通河川の改修(河床整備、護岸改修等)を行います。

- ◇令和4年度改修河川
一の沢川、小洞沢川、又五郎川



【新規】 林道施設災害復旧事業

2億2,930万円

令和3年8月の大雨により被災した林道施設の復旧工事を行います。

- <林道横河山線>
- 小日向橋架け替え工事
- 菅の沢路側路体復旧工事



【新規】 消防団員安全技能向上事業

14万2千円

消防団員の安全を確保するとともに特殊技能の向上を図るため、消防資機材の安全かつ効果的な取り扱いに関する特別教育の受講を支援します。

【新規】 消防団員処遇改善事業

1,166万円

消防団員の処遇の改善を図るため、出勤報酬を条例に基づく報酬に位置付け、引き上げを行います。

【拡充】 合葬式墓地増設事業<霊園事業会計>

3,100万円

お墓へのニーズが多様化する中、平成29年度に整備した合葬式墓地の需要が高まっている状況にあることから、同規模の合葬式墓地の再整備を行います。

- ◇個別埋蔵場所 216体
- ◇共同埋蔵場所 1,000体





【新規】蓄電システム導入補助金

300万円

再生可能エネルギー設備の導入を促進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、災害時の非常用電源を確保するため、個人住宅に蓄電システムを導入する経費の一部を補助します(太陽発電システムと蓄電システムを同時に設置する場合に限る)。

◇対象経費 10kw未満の太陽光発電システムに連結し、市内の住宅等に設置した蓄電システム(定置型)の導入に要する経費

◇補助率 対象経費の1/10以内

◇上限額 10万円



【新規】おかや3R探検隊事業

5千円

未来を担う子どもたちに住みよい環境を残すため、市内の小学生等を対象とした樋沢一般廃棄物最終処分場や事業所などごみ処理工程の見学を通じて、ごみ減量や3Rの推進への意識啓発を図ります。

【拡充】空き家対策事業

794万7千円

空き家の利活用及び適正管理を推進するため、岡谷市空家等対策計画に基づく諸施策を展開します。

◇老朽危険空き家対策事業

不良住宅空き家の所有者が行う解体費用に対して補助を行い、危険空き家の除去を推進する。

解体費用の1/2以内で、上限20万円

◇空き家バンク活用促進

空き家所有者へ空き家バンク・管理活用チラシを年2回発送

◇空き家再生支援事業【拡充】

長野県が選定した空き家活用事業者に対して、改修費用の一部を補助する。(補助率2/3以内、上限額600万円)



【拡充】住宅防災・減災事業

995万円

一般住宅の耐震化率向上を図るため、耐震診断事業を行うほか、耐震性がない建築物の耐震補強及び現地建替えに要する経費の一部を補助します。

◇耐震診断委託事業

◇耐震改修補助金(木造住宅耐震補強・現地建替え【拡充】)

【新規】我がまち守る防災資機材緊急整備事業

403万円

激甚化、頻発化する自然災害に対する備えに万全を期し、安全で安心な暮らしの実現を図るため、災害の応急対応や避難所運営に必要な防災資機材を整備します。

【新規】防災情報等発信強化事業

436万7千円

防災情報の迅速かつ確実な発信を図るため、気象情報の自動配信機能及びSNS連携機能の付加、また緊急速報メールの配信キャリアを追加します。

基本目標



快適な生活を支え、住み続けたいまち

地域の特性に応じた良好な市街地形成と居住環境の向上、地域の活性化を図るため、都市基盤や住環境の整備を進めるとともに、快適で住み続けたいまちづくりを推進します。

都市公園施設長寿命化推進事業

7,740万円

＜うち財源留保4,000万円＞

子どもから高齢者まで、誰もが安全で安心して利用できる公園整備を進めるため、老朽化した公園施設を年次計画により更新します。

令和4年度は岡谷湖畔公園のジョギングロードの整備、鳥居平やまびこ公園のサマーボブスレーリフトの更新のほか、**蚕糸公園のリニューアル**整備を行います。



諏訪湖周サイクリングロード整備事業

3億700万円

＜うち令和3年度補正1億6,600万円＞

「交通環境」、「健康・スポーツ・環境」、「観光振興」、「安全・安心」を整備の基本方針として、諏訪地域に住み、働き、集うすべての人々が、身近な交通手段として自転車を安全で快適に利用できるサイクリング環境整備を行います。

令和4年度は市内区間のうち、市民総合体育館南側から塚間川先までの整備工事を行います。

道水路新設改良事業

1億7,720万円

＜うち令和3年度補正3,870万円＞

幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改築などを実施し、安全で快適な道路環境を構築します。

道水路維持補修事業

4億2,660万円

＜うち令和3年度補正1億300万円＞

舗装の打換え、側溝改修など計画的かつ予防的な維持修繕に取り組むとともに、擁壁等の構造物に対する維持修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図りつつ、安全で快適な道路環境を保持します。

(仮称) 諏訪湖スマートIC整備事業

8,432万円

＜うち令和3年度補正5,325万円＞

地域における観光振興及び産業発展等を図るため、諏訪湖SAのスマートICの整備に向け、アプローチ道路の築造工事を行います。

【新規】 地域公共交通計画調査事業負担金

545万4千円

地域公共交通活性化再生法の改正により、地域公共交通計画の策定が努力義務化されたため、持続可能な地域公共交通体系の構築を目指し、地域公共交通計画の策定を行います。

令和4年度は策定に向けた各種調査を行います。

快適な生活を支え、住み続けたいまち



シルキーバス車両更新事業

1,000万円

シルキーバス車両の経年劣化による故障等を未然に防ぎ、継続的な運行を確保するため、年次計画により車両更新を行います。

シルキーバス子ども美術館

マンパワー事業

子どものうちからバスの使い方を覚え、バスへの理解や利用機会を創出するため、保育園児によるバスのイラストを車内に掲出します。

水道施設更新事業<水道事業会計>

2億8,000万円

利用者に対して、安全・安心で安定的な水道水の供給を行うため、老朽化が進む管路、水源、配水池などの水道施設の更新整備を行います。

水道施設再構築事業<水道事業会計>

9億6,640万円

安全・安心で安定的な水道水の供給を行うため、岡谷市水道事業基本計画(H27~R16)に基づく効率的な水の運用と危機管理体制の整備に向けて、12時間滞留可能な配水池の整備を行い、安全で強靱な水道施設の整備を図ります。令和4年度は河原口水源の改造工事のための詳細設計のほか、片間町ポンプ場の本体築造工事、宗平寺水源の改造工事などを行います。

【補正】 下水道ストックマネジメント(長寿命化)事業 <下水道事業会計>

5,000万円

下水道施設の事故発生や機能不全を未然に防ぐため、国庫補助金を活用しながら下水道管路の点検・調査を行い、その結果を基に長寿命化に向け計画的な改築工事を行います。

【補正】 下水道総合地震対策事業

<下水道事業会計> 1億1,000万円

下水道総合地震対策計画に基づき、「防災」・「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を推進するため、計画的に下水道地震対策工事を行います。令和4年度は、市内2小学校へのマンホールトイレの設置のほか、市内医療機関及び避難施設下の下水道管路の耐震化工事を行います。



諏訪湖流域下水道事業建設費負担金

1億2,360万円

<下水道事業会計>

諏訪湖流域下水道は、諏訪湖、天竜川及び流入河川の水質改善を図るため、生活排水や工場排水などを排除・処理しています。諏訪湖流域下水道の終末処理場、ポンプ場、幹線管渠等の建設費を、加入市町村である諏訪6市町村と立科町で負担します。

基本目標

みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

第5次総合計画に掲げた将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、各種施策を積極果敢に展開し、将来を見据えた確かなまちづくりを推進していきます。



【新規】 第5次岡谷市総合計画

後期基本計画策定事業

123万1千円

本市のまちづくりの指針を明らかにし、計画的な行政運営を推進するため、第5次岡谷市総合計画後期基本計画(令和6年度～令和10年度)を策定します。令和4年度は、市民意見の聴取として市民アンケート等を行います。

【新規】 旧岡谷市役所庁舎保全プロジェクト

180万円

旧岡谷市役所庁舎を後世に継承するため、安全対策及び長寿命化対策による適正な保全を行います。令和4年度は施設の現状を把握するための老朽度調査を行います。

ふるさと寄附金 寄附促進事業

5,060万円

ふるさと寄附金のさらなる促進と地域産業の活性化を図るため、岡谷のものづくり製品やシルク製品などの特産品のほか、岡谷市ならではの体験など、本市のPRにつながる返礼品やサービスを寄附者に贈呈します。

【新規】 LINE公式アカウント導入事業

127万6千円

岡谷市のLINE公式アカウントを取得し、ホームページなどの外部システムと連携したきめ細かい情報発信を行うとともに、防災メールとの連携により災害情報等を確実に伝達します。

【新規】 マイナンバーカード普及利用促進事業

502万8千円

行政手続きのデジタル化が急速に加速することが予想される中、デジタル化の鍵となるマイナンバーカードのさらなる普及を図るため、大型商業施設及び市役所庁舎において休日窓口を開設し、申請受付等をおこないます。

また、コンビニ交付サービスの利用を促進するため、市民生活課窓口にて自動交付機を導入します。



【新規】 キャッシュレス決済導入事業

マンパワー事業

コロナ禍における新しい生活様式への対応、利用者の利便性の向上を図るため、市内公共施設窓口にキャッシュレス決済を導入します。

【新規】 市議会グループウェア導入事業

16万7千円

議会運営の効率化及び議会の活性化を図るため、市民に開かれた議会を目指し、ICTの積極的な活用として、グループウェアの導入について、実証・検証を行います。

* 会計 *

一般会計

地方公共団体の基本的活動(行政運営)を行うのに必要な歳入、歳出を経理する会計。

特別会計

特定の事業や資金運用の状況を明確化するため、一般の歳入歳出と区分して経理する会計。本市では、岡谷市国民健康保険事業特別会計、岡谷市地域開発事業特別会計、岡谷市分収造林事業特別会計、岡谷市霊園事業特別会計、岡谷市温泉事業特別会計、岡谷市後期高齢者医療事業特別会計を条例で定めています。

企業会計

地方公営企業法の全部又は一部が適用される公営企業の会計。本市では、岡谷市水道事業会計、岡谷市下水道事業会計、岡谷市病院事業会計が該当します。

* 地方交付税・財政規模 *

地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわずに、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために、国税のうち、所得税、法人税、酒税及び消費税のそれぞれ一定割合及び地方法人税の全額を、国が地方公共団体に対して交付する税。地方交付税には、普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税があります。普通交付税は、基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体に対して、その差額(財源不足額)を基本として交付されます。

臨時財政対策債

地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行される地方債。通常収支の財源不足額のうち、財源対策債等を除いた額を国と地方で折半し、国負担分は一般会計から交付税特別会計への繰入による加算(臨時財政対策加算)、地方負担分は臨時財政対策債により補填することとされています。

基準財政需要額

普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を算定するものであり、各行政項目ごとに、次の算式により算出されます。【単位費用 × 測定単位 × 補正係数】

基準財政収入額

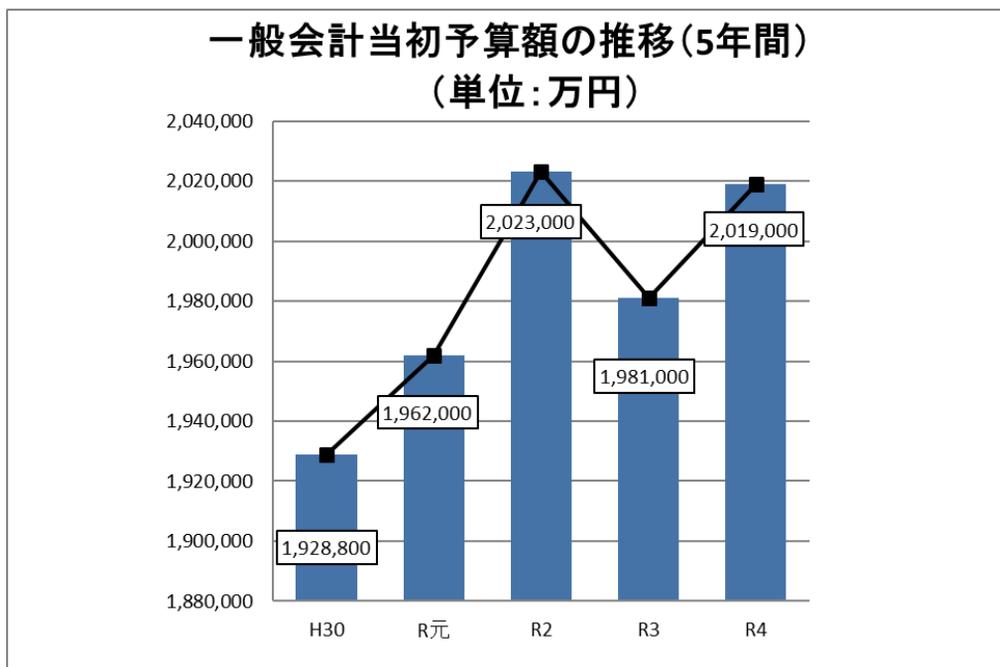
普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定するものであり、次の算式により算出されます。【標準的な地方税収入 × 75/100 + 地方譲与税等】

標準財政規模

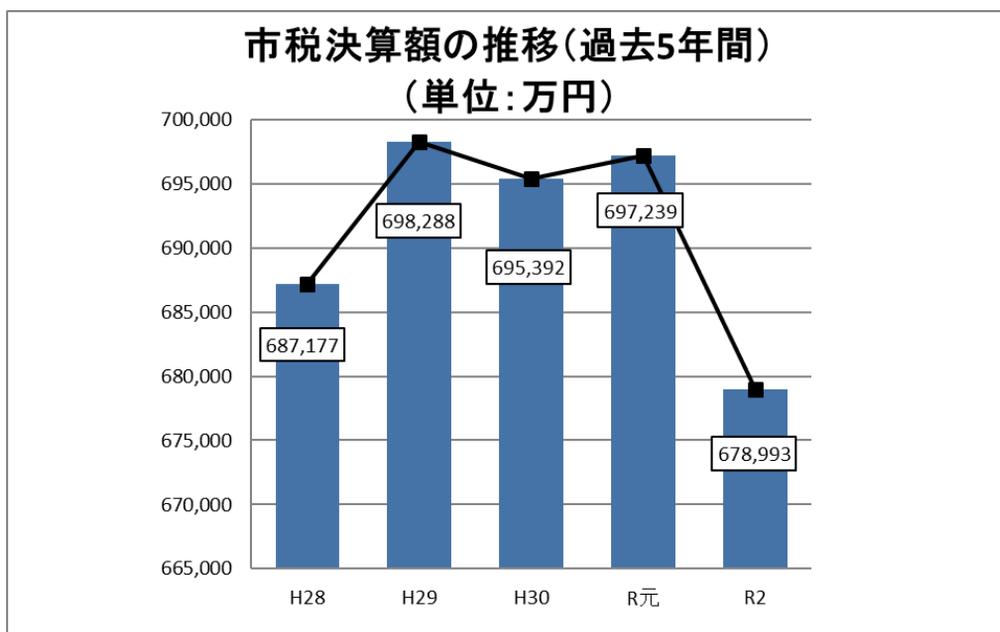
地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額。

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

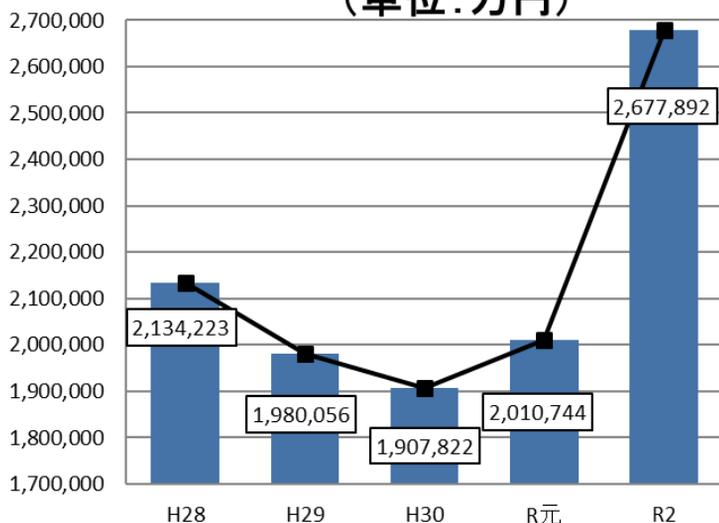


令和4年度の一般会計当初予算は201億9,000万円で、令和3年度予算に比べて3億8,000万円の増となりました。第5次岡谷市総合計画の4年目として、「安全・安心な暮らしの実現」、「まちなかの魅力向上」、「元気・活力の創出」の3つの重点施策を積極的に推進してまいります。

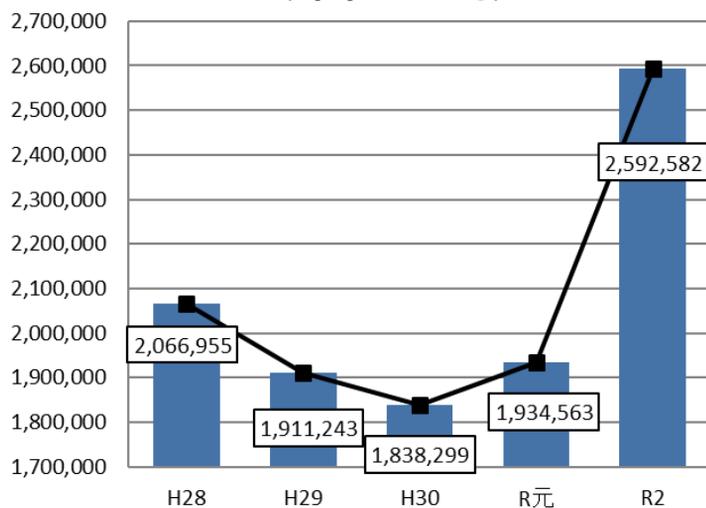


市民のみなさまや事業所などから納められた市税収入の推移です。
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人市民税が減収となるなど、市税収入全体では前年度決算額に比べて約1億8,000万円の減となりました。

一般会計歳入決算額の推移(過去5年間)
(単位:万円)

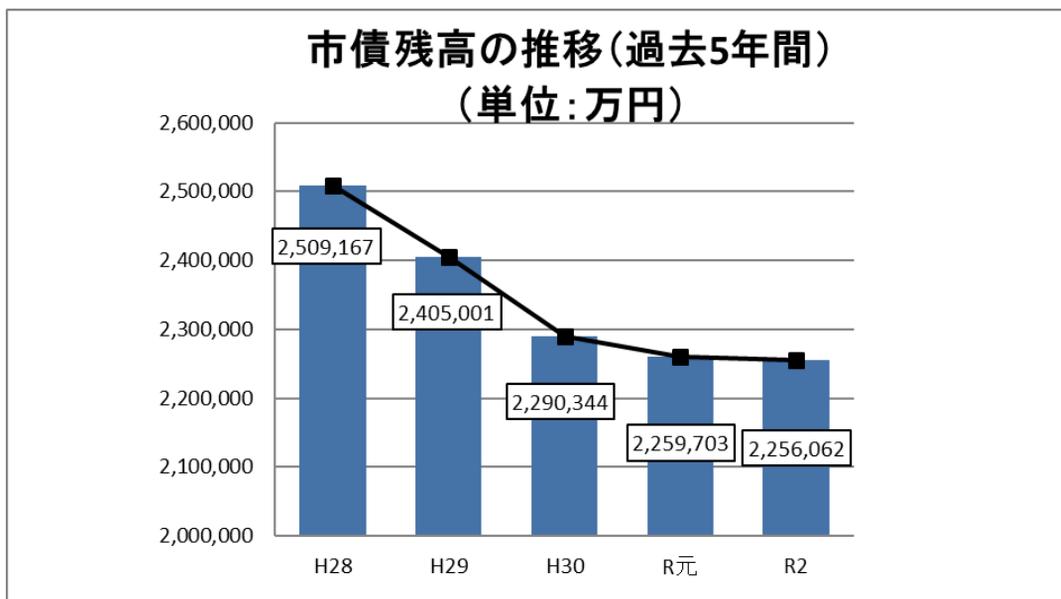


一般会計歳出決算額の推移(過去5年間)
(単位:万円)



その年度の市の収入である歳入と支出である歳出に分けて計画を立てたものが「予算」ですが、年度が終わったあとに、その年度途中の補正予算を含め、どのような収入があつて、どのようなことにどのくらいのお金が使われたかを結果として示すものが「決算」です。

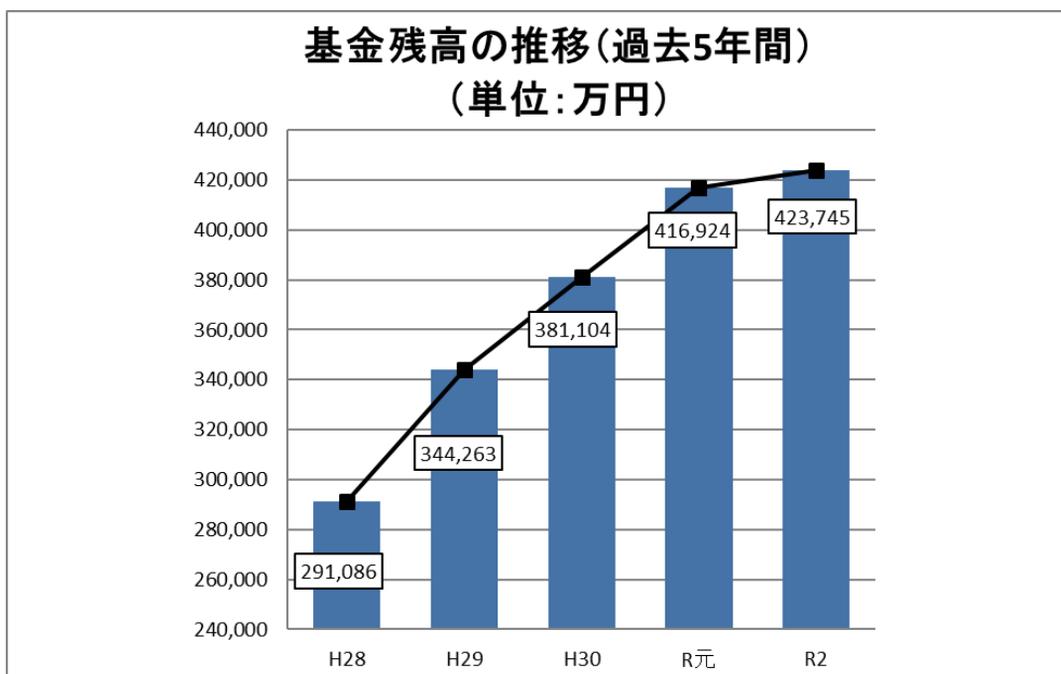
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、国・県等の補助制度を有効に活用し、積極的な事業を展開した結果、翌年度への繰り越しを除く実質収支では6億2,059万円の黒字決算となりました。



市の借金である市債の残高の推移です。

平成26年度に、岡谷市土地開発公社の抜本的改革に伴う第三セクター等改革推進債や、病院整備事業出資債などにより市債残高は増加しましたが、その後は減少傾向が続いています。

今後も引き続き、将来世代に対し過度な負担となることがないように、これまで実施してきましたキャップ制による市債残高の抑制を原則とし、市債の適正な発行と管理に努めていきます。

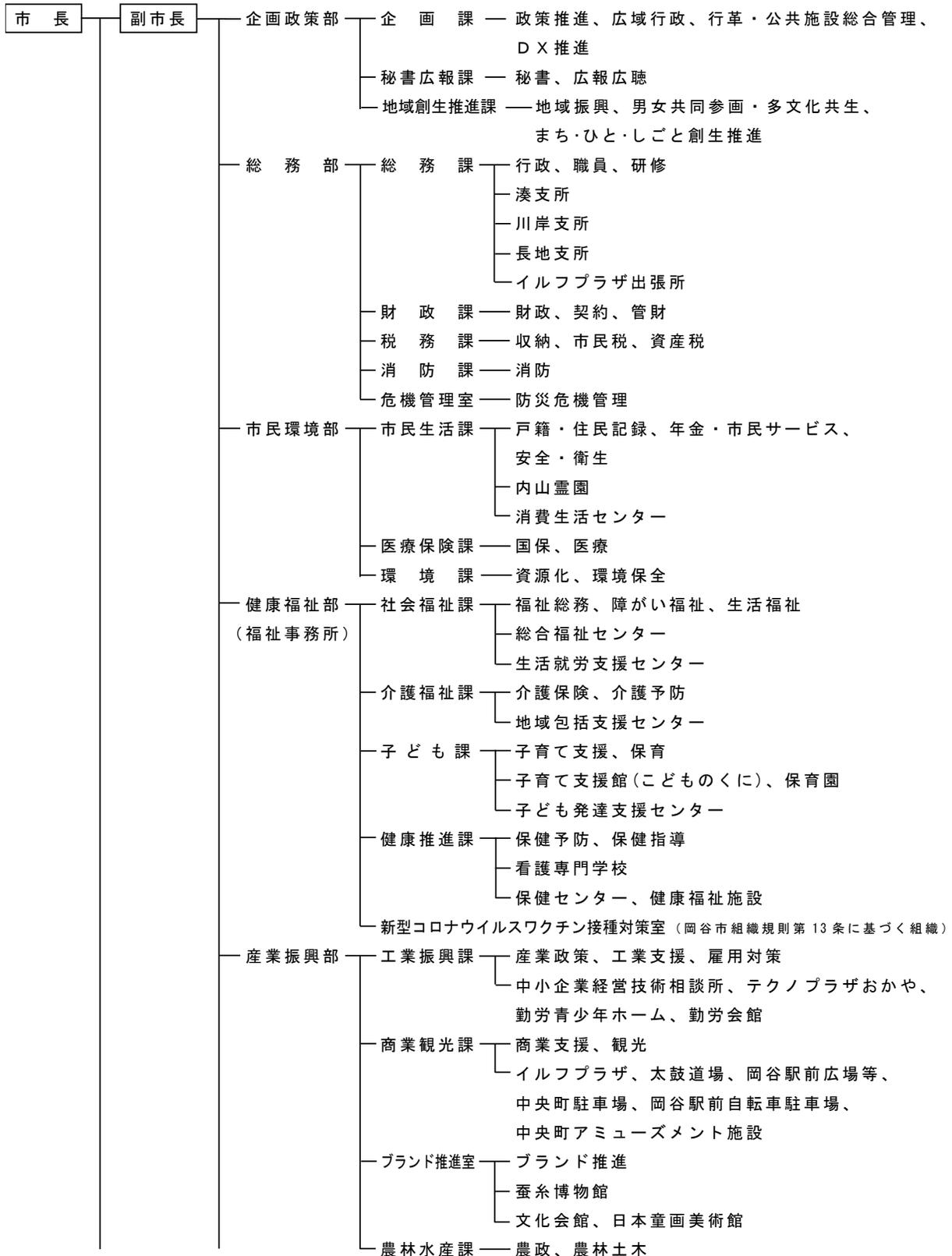


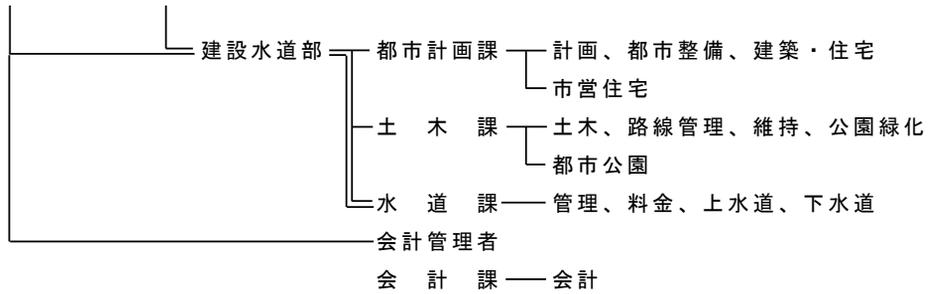
市の貯金である基金の残高の推移です。

一時は、大型事業の実施のほか、景気の低迷などの影響に対応するため、必要な時期に必要な額の取崩しを行った結果、残高が減少した時期もありましたが、平成27年度以降は、ふるさと納税による寄附金の増などにより増加傾向となっています。今後も基金に頼らない財政構造への転換を図るとともに、基金の積み増しを計画的に行っていきます。

令和4年度 岡谷市組織図

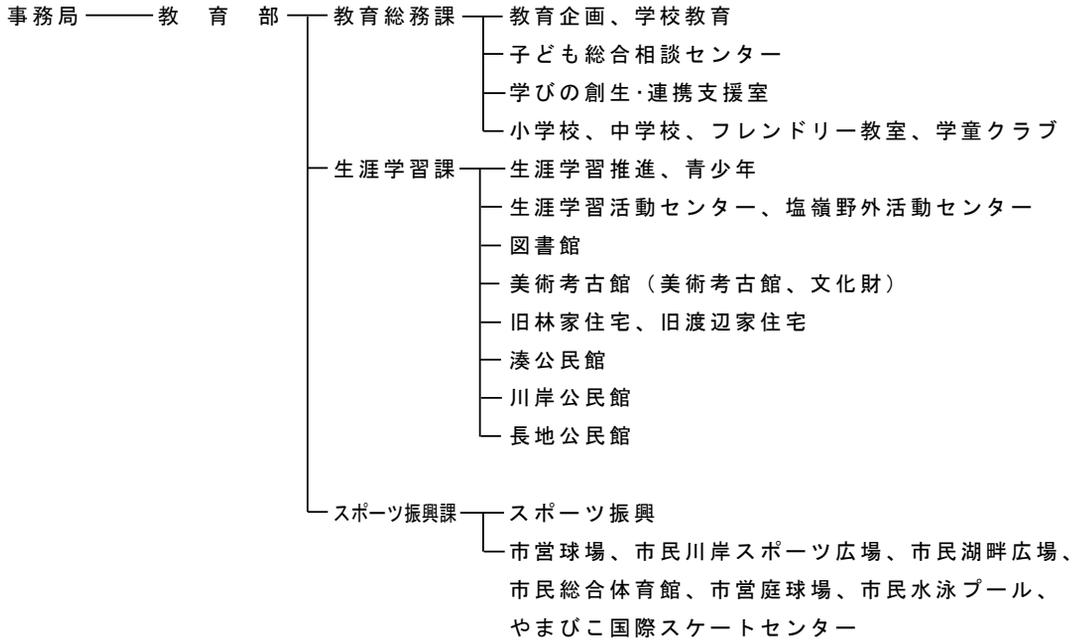
R4.4.1





教育委員会

教育長



- 選挙管理委員会 ————— 事務局
- 監査委員 ————— 事務局
- 公平委員会 ————— 事務局
- 農業委員会 ————— 事務局 ——— 農地
- 固定資産評価審査委員会 ——— 事務局
- 議会 ————— 事務局 ——— 庶務、議事



作成：岡谷市総務部財政課

ご意見等ありましたら、お寄せください。

電話 0266-23-4811

FAX 0266-24-0689

E-mail zaisei@city.okaya.lg.jp